

第1学年保健体育科学習指導案

授業者 佐藤 文子

1 日時 平成28年11月17日(木) 5校時

2 学級 一関市立大東中学校 1年B組 男子12名 女子15名 計27名 (体育館)

3 単元名 「体づくり運動」(体ほぐしの運動)

4 単元について

体づくり運動は「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」で構成されている。「体ほぐしの運動」は、自分の体の調子を整えたり、仲間と交流することをねらいとした運動である。また、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するため、体を動かす楽しさや心地よさを味わう、基礎的な運動でもある。心身の成長のために他者とのかかわりを持つことはすべての運動において大切な要素であるが、この「体ほぐしの運動」においても、仲間と共に楽しい運動の体験を共有することは、生徒が主体的に運動に関わろうとする心の発達、生徒相互の望ましい人間関係を育成することができる教材である。

1年B組は明るく素直な生徒が多い。男子において運動能力が劣っている生徒が数名いるが、どの運動に対しても前向きに努力している。全体として、努力する姿勢ができている学級である。事前のアンケートでは9割の生徒が運動することが好きと答えている。しかし、どんな時に運動が楽しいと感じるか聞くと「体を思いっきり動かしたとき」「バスケットでシュートが入った時」などであり、仲間とかかわりの中で運動を楽しんでいくという価値観が身につけている生徒が少ない。生徒の明るく前向きな姿勢を生かしながら、運動での仲間との関わり合いを通して心身の成長をめざしたい。

5 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の目標

- ①仲間と協力しながら体づくり運動に意欲をもって取り組もうとする。【運動への関心・意欲・態度】
- ②自己の体力や能力に応じて、体づくり運動の行い方を工夫すると共に運動における心身の調和や心の健康を考えることができる。【運動についての思考・判断】
- ③体づくり運動の必要性や運動の行い方、運動の計画の立て方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。【運動についての知識・理解】

(2) 単元シラバス

教科書	学習内容	評価・確認事項まとめ	評価確認問題
1 教 p 1 0	オリエンテーション 体ほぐしの運動を行う。	体づくり運動の意義を理解する。	流れ
2 教 p 1 0	体力を高めるための運動を行う。 体の柔らかさを高める運動、力強い動きを高める運動を行う。	体づくり運動の必要性や運動の行い方を理解することができる。	いろいろな運動

3	教p 10 p 337	体力を高めるための運動を行う。 グループごとに体力を高める運動 計画を立てる。	仲間と協力しながら体づくり運動 に意欲を持って取り組む。	体づくり運動 に積極的に取り組 む態度
4	教 p 10 p 337	体力を高めるための運動を行 う。巧みな動きを高める運動（集団 行動）を行う。グループごと運 動計画を立てる。	仲間と協力しながら体づくり 動 動に意欲を持って取り組む。	体づくり運動に 積極的に取り組 む態度
5	教 p 10 p 337	体力を高めるための運動を行う。 巧みな動きを高める運動（集団 行動）を行う。グループごと運 動計画を立てる。	仲間と協力しながら体づくり運 動に楽しみながら意欲を持っ て 取り組む。	集団行動 足、手の動き 姿勢の確認
6	教 p 10 P337	体力を高めるための運動を行う。巧 みな動きを高める運動（集団行動 ）を行う。グループごと運動計 画を立てる。	仲間と協力しながら体づくり運動 に楽しみがら声を掛け合い取り組 む。	集団行動の工夫
7	教 p 10 p 337 本 時	いろいろな動きを工夫しながら仲 間と協力して楽しい「集団の動き 」をつくる。	仲間と運動することで心の動きを みつめたり考えたりできる。	集団行動の工夫
8	教 p 10 p 337	いろいろな動きやリズムに合わせ た動きをチャレンすると共に グループごとに息の合った「楽 しい集団の動き」を作ろう	仲間と運動することによる心の 動きを見つめ、それを運動に生 かすことができる。	動きの得とく
9		学習のまとめ		

6 本時について

(1) 本時のねらい

学習課題の解決に向けて、お互いに気を配ったりしながら、運動を楽しむことができるようにさせたい。また、仲間と運動することによる心の動きを見つめたり考えたりすることができるようにさせたい。

(2) 授業づくりの視点

① 「いわての授業づくりの3つの視点」から

【1 学習の見通し】

- ・「単元シート」を作成し、単元の最初の授業でゴールの活動までの流れを確認する。
- ・授業の導入で「授業の流れ」を確認する。

【2 学習課題を解決するための学習活動】

- ・活動を行う上で重要な点は全体で共通理解を図る。
- ・互いの個性を尊重しながら、グループ活動に挑む。

【3 学習の振り返り】

- ・本時の振り返りの自己評価を行う。

・学習課題に関わり、本時でできたこと、できなかったこと、次回、頑張りたいことをグループごとに話し合う。

②生徒指導の視点から

【1 学習サイクルづくり】

・仲間と協力し、励まし、伝え合える活動を繰り返し、行う。

【2 グループ活動】

・「誰とでも楽しく運動」することを意識化させ、活動させる。

(3) 本時の目標

①学習課題解決に向けて、仲間と協力して運動を楽しむことができる。【関心・意欲・態度】

②運動による心の動きを見つめ、それを運動に活かすことができる。【思考・判断】

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導の留意点	◆評価(授業づくりの視点)
導入 5分	1 ランニング・準備運動 2 挨拶 3 5分間走 4 学習課題の共有	1 体育学習の雰囲気をつくる。 2 元気よくあいさつ、欠席者・見学者の確認をする。 3 みんなで声を掛け合い、一生懸命ランニングする雰囲気をつくる。	②【1 学習サイクルづくり】 ①【2 学習の見通し】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 学習活動 グループで協力して 「息のあった楽しい歩行運動」を創ろう </div>			
展開 40分	5 前時までの動きを確認する。 6 グループ毎に「動き」を考える。 7 他のグループの良いところを見つめて互いに高め合う。	5 グループで前時までの全体の動きを確認する。 6 ・グループで話し合いながら動きを構成する。 ・動きが決まらないグループに支援する。 ①既習の動きから、グループの動きを見つめるように働きかける。 ②グループの動きができない生徒に対してグループ内で助言させる。 7 他のグループの良いところを積極的に気づき自分たちのグループの動きも見直すことができる。	①【2 学習課題を解決するための学習活動】②【1 学習サイクルづくり】 ②【2 グループ活動】 ①【3 学習の振り返り】
分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> まとめ ・仲間と協力して活動した。 ・自分の心の動きを見つめ、互いの個性を尊重しながら活動した。 </div>		
終			

末 5 分	8 まとめ、評価	8 学習の成果を確認しあい、授業全体の評価を行う。	①【3 学習の振り返り】
-------------	----------	---------------------------	--------------